学校番号	320

令和８年度　人文ステップアップ科

教科	人文ステップアップ	科目	（学）国語探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	図でつかむリード現代文２標準（啓隆社） 新課程対応高校生必修語彙ノート　（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・発展的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・漢字をはじめとする基礎的語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けて応用してください。
・予習として必ず本文を読み、意味の分からない語句は辞書で調べておきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・語彙を増やし、正確な漢字の読みと書き取りの力をつけていく。
【思考力、判断力、表現力等】
・評論では、キーワードを読み取り、内容を理解し、解答に繋げていく考え方ができるようになること、さらに、一面的でない捉え方や自分の思考を深めて発展させていくことを目指す。
・小説では、評論とは違う読解（話の展開だけでなく、登場人物の言動や心象風景から心情を読み取る）力を養うことを目指す。
【学びに向かう力、人間性等】
・以上のように、様々な文章の精読・読解によって、問題を解く力を養い、豊かな言語感覚と多様な価値観を養い、お互いの意見や感想を交換し批評する力（伝え合う力）を身につけ、他者との円滑なコミュニケーションを図ることのできる力を養っていくことを到達目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実践に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	「教育力」 「街場のメディア論」 「言葉と歩く日記」 「育てられる者から育てる者へ」 「自由の条件」 「架空の球を追う」 「ぶどうのなみだ」	a:常用漢字の読み、ことわざや格言に慣れ、書くことにも取り組んでいる。 b[　書　]:内容や構成を理解している。 c:コミュニケーションをとって、自分の意見を出そうとしている。	小テスト 定期考査	問題演習	ペアワーク
二学期	「ひとりの午後に」 「科学と人間の不協和音」 「アート・ヒステリー」 「立体交差に根ざした日本語」 「ことり」 「人間についての寓話」 「脳内汚染」 「今を生きるための哲学的思考」 「書のスタイル文のスタイル」 「栗樹」 「本を読む女」	a:文章の組み立てや接続、指示語など、より高度な読解の仕方を理解している。 b[　書]:自分の意見、考えを人に伝わるように書こうとしている。 c:自分の言葉で自分の答えをまとめようとしている。	小テスト 定期考査	問題演習	ペアワーク
三学期	「パラレルな知性」 「生物と無生物のあいだ」 「デザインのデザイン」 「或る朝」 「キャラメル工場から」	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 b[　書　]:自らの意見や考えを述べようとしている。 c:自分の意見を他者にしっかりと伝えようとしている。	小テスト 定期考査	問題演習	ペアワーク

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間
・書くこと　…　（　２５～３０　）時間
・読むこと　…　（　４０～４５　）時間